

利 用 案 内

【開館時間】午前9時～午後4時30分

【休 館 日】火曜日
(火曜日が祝・休日の場合はその翌日)
年末年始(12/29～1/3)

【入 館 料】個人210円 団体20人以上)170円
65歳以上の方160円
※中学生以下無料

【交 通 内 容】
高岡駅より
・加越能バス／横田本町経由国吉行き5分
金屋下車徒歩1分
・自動車、タクシー／約5分
・徒歩／約20分



高岡市鋳物資料館

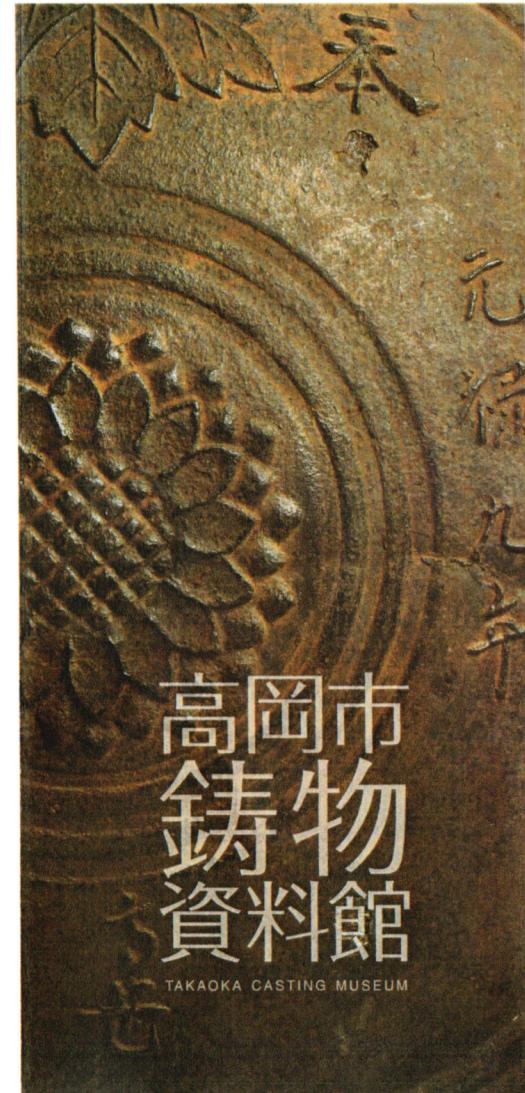
TAKAOKA CASTING MUSEUM

〒933-0841 富山県高岡市金屋町1-5

TEL/FAX (0766) 28-6088

<http://www.city.takaoka.toyama.jp/siggs/html/mono/>

平成28年7月発行



加賀藩二代藩主・前田利長は、高岡入城間もない慶長16年(1611)に、町づくりのため鋳物発祥の地である河内国丹南郡(現在の大坂府堺市)の流れをくむ、砺波郡西保金屋(現在の高岡市戸出西部金屋)より鋳物師7人を招きました。その後も同17年に1人、翌年に3人を招き、合計11人となり高岡鋳物は彼ら11人によって始まるとなります。利長は彼らに千保川対岸の土地を与え、鋳物場を開設させて業を興したとされています。その後も、歴代藩主の手厚い保護により様々な諸役(税)の免除や通行の自由、山林竹木伐採などの特権を与えられて、急速に力を増し、北国筋(今の福井県から新潟県まで)における鋳物業を支配するまでの勢力を保有し栄えていました。



まへだ としむねこうじょう
前田利長公肖像
(萬元寺提供)
加賀藩二代藩主

中世以来、全国の鋳物師は真綿家により営業を統轄され、その免許がなければ吹場(か)を構え鋳物業に携わることができませんでした。高岡鋳物師たちは真綿家の支配による座法(同業者が守るべき最も大切なきまり)の厳守を誓約すると同時に、代替わりには新しく免許状を願い受け、年頭や折々の礼を尽くすなど並々ならぬ心遣いをしていました。

江戸中期より後期頃には新しい技術や素材の研究・開発にも力を注ぎ、さらに販路の拡大を求めるなど不斷の努力を重ね、藩政末期頃には高岡鋳物産業は一層盛んになり、やがて明治維新的変革期を迎える銅器鋳物産業興隆の基盤を築くことになります。



ごいんさい

金屋町の人々が、前田利長公に対する敬意の表をあわすため、毎年6月19日(20日)に行なう金屋町鋳物師の心懇意を表す「やがえす」— 諸物の作風と説いてあります。

高岡市鋳物資料館

TAKAOKA CASTING MUSEUM

高岡市 鋳物 資料館

TAKAOKA CASTING MUSEUM



わにくら
鈴口

鈴口は神社仏閣の堂前の軒先に吊るし、参詣者が鐘を振り動かして打ち鳴らす金属製の道具。金屋町でつづられ、元禄9年(1696)に有職神社に寄贈されたもので、初期高岡鋳物の必携品として制作年代が判明している最も古い作品。
【高岡市指定文化財】

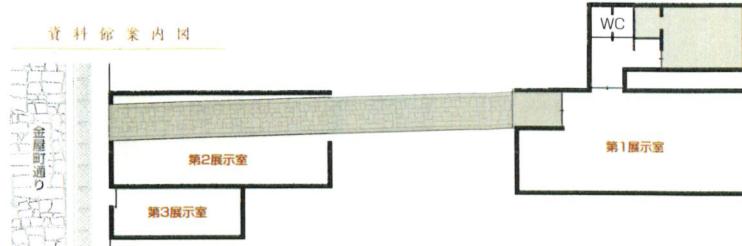
高岡鋳物は、近世初頭の高岡開町にはじまり、最初は鍋・釜・鉄瓶などの日用品や、鋤・鍬等の農耕具などの鉄鋳物を生産していました。その後、江戸中期頃には釣鐘や灯籠などの銅鋳物がつくられるようになりました。

江戸末期頃には、銅器鋳物技術の進展により、仏具や花びんなど日用的で装飾・鑑賞性の高い製品を生産し、国内はもとより海外にも輸出されるようになり、高岡を代表する地場産業として今日の発展の礎となっていました。

高岡鋳物発祥の地である金屋町には、400年にわたる鋳物産業の歴史を背景に、由緒ある古文書や初期の鋳造技術を知ることのできる鋳物製品、多種多様な造型・鋳造用具など、数多くの資料が現存しています。

高岡市鋳物資料館は、これらの貴重な資料を収集・展示し、高岡鋳物の歴史と伝統を紹介する町の小さな博物館です。

資料館案内図



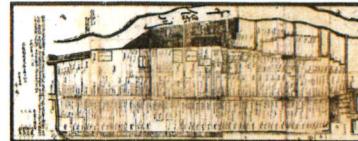
金屋町の伝統的な民家である旧若野家の一部を改修して資料展示室として整備。前面は格子戸風のファサードとし、町並みの景観に配慮した構造とています。

●主な収蔵物

古文書等



高札
加賀藩四代藩主・前田光高が、領内の物語者に対しての特權を再確認したもの。



金屋町絵図

前田利長公は、高岡に招いた物語者たちに、原資料の盗難や火災の危険などを考慮して、千保川左岸に鋳物工場や貯蔵地を与えて、手厚い保護のもとに金屋町を開いた。



仁安の御持旨 (金屋町所蔵)

高岡鋳物師の祖先が、河内國に住んでいた時に下駄された縁札で、金屋町の室として残る。内容は、物語者に対して全国に鍋・釜・鉄瓶・鉢などを販売することを命じ、そのため縁役を免除し、全国通行の自由を保証したもの。
【高岡市指定文化財】



仁安の御持旨 (金屋町所蔵)



仁安の御持旨 (金屋町所蔵)